

## 食物の嗜好傾向と性格に関する研究（Ⅱ）

中山 郁子・藤江 奏

Ikuko NAKAYAMA and Susumu FUJIE : Studies on the Relationship  
between One's Taste for Food and Personality (II)

### I 目 的

(1)  
前報<sup>(1)</sup>において、中学生を対象に食物嗜好の傾向、食品相互間の嗜好の相関性および食物嗜好と性格との関連について報告したが、食物嗜好は調理法により変化し、それが各人の性格にも反映されるものと推察される。したがって、今回は各種調理法により食物嗜好がいかに影響をうけるかを検討するために調査をおこなった。

### II 調 査 方 法

調査対象は、島根大学教育学部附属中学校生徒男子206名、女子184名である。

今回は調査食品数を減らし日常多く使用される代表的な食品として40種類を選び、また、酢の物、味噌あじ、味の濃淡、甘い物の好き嫌いおよび油を使った調理の好き嫌いをとりあげた質問紙を用いた。

40種の食品については、「そのまま、煮る、焼く、揚げる、蒸す、ゆでる」の調理法による嗜好の度を前調査同様、「大好き」から「大嫌い」まで5段階法により数字を記入させた。また、酢の物については、野菜の酢の物、魚の酢の物、海草の酢の物について5段階法で、味噌あじについては、味噌汁、田楽、味噌漬、味噌煮について5段階法で記入させた。ただし、「食べたことがない」場合には、0を記入させた。

回収された資料から、各食品の調理法別による嗜好度の平均を算出し、調理法別および男女間における比較検討をt検定およびF検定を用いておこなった。

### III 結 果 お よ び 考 察

#### 1. 食品の調理法別嗜好傾向

肉類、卵および牛乳の調理法別平均嗜好度は、第1表に示されるとおりである。

肉類のなかでは、やはり牛肉の嗜好度がいずれの調理法でも高く示されたことが注目された。ついで男子では、豚肉、鶏肉、鯨肉、レバー、もつの順に、女子では、鶏肉、豚肉、鯨肉、レ

第1表 肉類・卵・牛乳の嗜好度

食 品	性 別	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま
牛 肉	男 子	4.65±0.59	4.42±0.79	4.21±0.85		
	女 子	4.51±0.79	4.22±0.81	4.09±0.90		
	男女差	※	※			
豚 肉	男 子	4.31±0.89	4.11±1.00	3.83±1.05	3.61±1.16	
	女 子	3.98±1.01	3.89±1.02	3.55±1.07	3.30±1.07	
	男女差	※	※	※	※	
鶏 肉	男 子	4.11±1.07	4.04±1.12	3.72±1.13	3.69±1.18	
	女 子	4.07±1.05	4.04±1.07	3.74±1.08	3.55±1.19	
	男女差				※	
鯨 肉	男 子	3.70±1.13	3.73±1.11	3.29±1.18		3.14±1.23
	女 子	3.33±1.06	3.40±1.10	3.11±1.09		2.90±1.18
	男女差	※	※			
レ パ ー	男 子	3.49±1.32		3.37±1.27		
	女 子	2.91±1.29		2.88±1.27		
	男女差	※		※		
も つ	男 子	3.29±1.29		3.23±1.28		
	女 子	2.81±1.27		2.89±1.28		
	男女差	※		※		
肉 類 全 般	男 子	4.40±0.72	4.24±0.79	3.76±0.92	3.66±0.93	3.12±1.14
	女 子	4.23±0.85	4.07±0.81	3.67±0.90	3.40±0.98	2.38±1.18
	男女差	※	※		※	※
卵	男 子	4.18±0.87		3.99±0.94		3.61±1.13
	女 子	4.16±0.85		3.95±0.82		3.12±0.97
	男女差					※
牛 乳	男 子			3.70±1.09		4.21±0.84
	女 子			3.38±1.18		3.77±0.97
	男女差			※		※

注 「—」は、つながれた調理法間に有意差のみられたことを示す。

男女差欄の※印は、男女間に有意差のみられたことを示す。

第2表 魚類の嗜好度

食 品	性 別	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	さし み
ま ぐ ろ	男 子	3.60±1.00		3.50±1.04	4.05±1.03
	女 子	3.48±0.88		3.42±0.90	3.84±1.13
	男女差				
い わ し	男 子	3.61±1.02	3.49±1.05	3.29±1.05	3.39±1.15
	女 子	3.51±0.88	3.30±0.84	3.28±0.88	3.14±1.04
	男女差				
さ ば	男 子	3.71±1.07	3.54±1.06	3.44±1.10	3.36±1.18
	女 子	3.70±0.89	3.51±0.88	3.57±0.89	3.19±1.13
	男女差				
あ じ	男 子	3.75±1.00	3.71±1.05	3.32±1.05	3.43±1.14
	女 子	3.63±0.91	3.44±0.90	3.29±0.89	3.09±1.06
	男女差		※		※
か つ お	男 子	3.62±0.97		3.46±1.03	3.78±1.11
	女 子	3.33±0.81		3.28±0.82	3.28±1.15
	男女差	※			※
た い	男 子	3.88±1.01	3.62±1.07	3.61±1.08	3.76±1.05
	女 子	3.91±0.91	3.44±0.94	3.72±0.93	3.56±1.15
	男女差				
か れ い	男 子	3.81±0.98	3.62±0.98	3.49±0.99	3.36±1.14
	女 子	3.83±0.84	3.58±0.96	3.57±0.94	3.15±1.10
	男女差				
し ら う お	男 子		3.84±1.04	3.73±1.05	3.74±1.12
	女 子		3.48±1.10	3.42±1.09	3.14±1.31
	男女差		※	※	※
と び う お	男 子	3.37±1.07		3.24±1.02	3.32±1.19
	女 子	3.22±0.88		3.13±0.83	3.10±1.06
	男女差				
ふ ぐ	男 子			3.79±1.05	3.51±1.22
	女 子			3.24±1.11	2.87±1.10
	男女差			※	※
魚 全 般	男 子	3.77±0.93	3.65±1.02	3.29±0.97	3.41±1.19
	女 子	3.72±0.87	3.63±0.87	3.46±0.90	3.16±1.18
	男女差				※

バー、もつの順になっており、この結果は前報における傾向と全く一致した。

調理法別では、焼いたものが最も好まれ、揚げたもの、煮たもの、むしたもの、そのままのもの順に好まれる傾向がみられた。

男子では、煮たものとむしたもの間に、女子では、焼いたものと揚げたもの間を除いては、いずれも有意差がみとめられた。

前報では、豚肉、鯨肉、レバー、もつと肉類全般に男女差がみられたが、本調査においても、鯨肉の煮たもの、むしたものと肉類全般の煮たものを除いて、それぞれ男女差がみとめられた。さらに、牛肉の焼いたもの、揚げたものと鶏肉のむしたものにも男女差がみられた。男子はいずれの調理法でも女子より高い嗜好度を示し、前報において肉類が男子により好まれていた結果とよく一致した。

卵は、男女とも焼いたものが最も好まれており、各調理法の間にもそれぞれ有意差がみられた。また、男女差は「なま」のままですることによる有為性がみられた。

牛乳では、そのまま飲むことが好まれ、温めたものとの間に有意差がみとめられた。また、前報と同様にいずれにも男女差がみられた。

魚類の調理法別平均嗜好度は第2表に示されるとおりである。

魚類においては、肉類のように調理法別による嗜好の順位は一定していないことがみとめられた。これは、それぞれの魚のもつ性質やわれわれが食する習慣が関係しているからではないかと考えられる。

しかし、全般的に見た場合には、焼いたものや揚げたものの方が、煮たものやさしみなどよりどちらかといえば好まれているようである。また、男子と女子では、煮たものとさしみの好む順序が全く逆になっており、この間に女子では有意差がみとめられた。さらに、さしみにおいても男女差がみられた。特に、あじ、かつお、しらうおおよびふぐなどで大きな差がみられた。

いか、たこ、えびおよび貝類の調理法別嗜好度ならびに魚肉加工品についての加工品別平均嗜好度は第3表に示されるとおりである。

いか、たこおよびえびでは、煮たものは全般的に好まれず、いかとえびの男子で、焼いたもの、揚げたものとの間に有意差がみられた。

えびは、前報においては男女差がみとめられたが、今回の調査ではその差はみられなかった。

貝類では、かきの場合に調理法間と男女間に差がみられたが、はまぐりではどちらにも差はみとめられなかった。

肉類加工品では、男女ともかんづめに比べて、ハム・ソーセージなどの嗜好度が高く、女子ではかんづめとの間に有意差がみとめられた。また、かんづめにおいては男女間に差がみられた。

魚類加工品では、男女とも全く同じような嗜好傾向を示し、いずれの場合においても有意差

第3表 いか・たこ・えび・貝類・魚肉加工品の嗜好度

食 品	性 別	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま
い か	男 子	3.91±1.03	4.00±1.00	3.60±1.04		3.97±1.05
	女 子	4.02±0.91	4.06±0.92	3.83±1.00		3.91±1.11
	男女差			※		
た こ	男 子			3.81±1.02	3.97±0.93	
	女 子			3.85±1.00	3.87±0.99	
	男女差					
え び	男 子		4.38±0.83	4.19±0.91	4.21±0.93	
	女 子		4.36±0.82	4.01±0.95	4.07±0.93	
	男女差					
か き	男 子		3.47±1.31	3.28±1.31		3.08±1.39
	女 子		3.17±1.35	2.93±1.29		2.60±1.28
	男女差		※	※		※
はまぐり	男 子	3.56±1.14		3.45±1.11		
	女 子	3.49±1.04		3.50±1.02		
	男女差					
		ハム・ソー セージなど	かんづめ			
肉類加工品	男 子	4.02±0.90	3.85±1.03			
	女 子	3.95±0.87	3.54±0.87			
	男女差		※			
		かまぼこ ちくわ	ひもの	かんづめ		
魚類加工品	男 子	3.57±1.04	3.51±1.05	3.60±1.15		
	女 子	3.58±0.87	3.53±0.91	3.46±0.95		
	男女差					

はみとめられなかった。

葉菜，なす，ピーマン，かぼちゃの調理法別嗜好度は第4表に示されるとおりである。

葉菜では，いかなる調理法においてもキャベツとほうれん草が玉ねぎ，ねぎなどより高い嗜好度を示し，前報の結果と全く一致した。

キャベツは，男女とも調理法による嗜好の差がはっきりみられ，なまのままですることが

最も好まれていた。

前報においてみられたねぎの男女差は、調理法別における今回の調査ではいずれも男子より女子の方が低い嗜好度を示しているが、有意差のみられたのは、なまのみで食することにおいてのみであった。

なす、ピーマンおよびかぼちゃでは、いずれも女子の方が男子より高い嗜好度を示していた。

前報では、瓜類がどちらかといえば女子に好まれていた傾向がみとめられていたが、本研究においてもそのような傾向がみられ、特になすとかぼちゃの煮たものではっきりと有意差がみ

第4表 葉菜・なす・ピーマン・かぼちゃの嗜好度

食 品	性 別	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま
ね ぎ	男 子	3.34±1.15		3.27±1.17		3.33±1.25
	女 子	3.13±1.10		3.14±1.08		2.87±1.25
	男女差					※
玉 ね ぎ	男 子	3.49±1.15	3.44±1.19	3.46±1.12		3.18±1.28
	女 子	3.43±1.00	3.50±1.08	3.41±1.04		2.94±1.24
	男女差					
キャベツ	男 子	3.98±1.02		3.58±1.12		4.18±0.75
	女 子	3.97±0.86		3.53±0.97		4.23±0.81
	男女差					
ほうれん草	男 子	3.94±1.03		3.70±1.08	3.87±1.04	
	女 子	3.95±0.86		3.60±0.88	3.79±0.95	
	男女差					
な す	男 子	3.43±1.24	3.31±1.19	3.32±1.18		
	女 子	3.65±1.08	3.54±1.08	3.71±1.05		
	男女差			※		
ピーマン	男 子	3.51±1.37	3.37±1.33	3.15±1.32		
	女 子	3.67±1.24	3.58±1.21	3.24±1.21		
	男女差					
かぼちゃ	男 子		3.45±1.07	3.55±1.01		
	女 子		3.65±0.99	3.95±0.92		
	男女差			※		

とめられた。

第5表は、いも類および根菜の調理法別平均嗜好度を示すものである。

いも類では、さつまいもとやまいもに調理法による差がみられた。いも類全般については、煮たものの嗜好度が一番低くあらわれていた。

じゃがいもは、男女とも、いずれの調理法でも同程度の嗜好度が示されたということは、非常に興味深いことである。じゃがいもは、年中手に入ることや、調理法にバラエティがあることなどからいずれの調理法にも馴じていると言えるのではないかと推察される。従って、い

第5表 いも類・根菜の嗜好度

食 品	性 別	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま
じゃがいも	男子	3.82±1.02	3.91±0.98	3.77±1.02	3.78±0.98	
	女子	3.89±0.89	3.86±0.98	3.75±0.87	3.79±0.89	
	男女差					
さつまいも	男子	4.08±0.96	4.01±0.93	3.78±1.00	3.97±0.95	
	女子	4.16±0.90	4.15±0.87	3.97±0.88	4.09±0.87	
	男女差					
やまいも	男子			3.30±1.12		3.71±1.16
	女子			3.16±1.02		3.64±1.17
	男女差					
大 根	男子			3.08±1.19		3.52±1.21
	女子			3.26±1.07		3.59±1.05
	男女差					
にんじん	男子	3.10±1.21	3.02±1.18	3.02±1.12		2.79±1.26
	女子	3.11±1.04	2.99±1.06	2.89±1.10		2.49±1.20
	男女差					※
ご ぼ う	男子		3.46±1.08	3.35±1.09		
	女子		3.50±1.00	3.69±1.01		
	男女差					※
れんこん	男子		3.11±1.18	3.06±1.11		3.02±1.18
	女子		3.04±1.02	3.01±1.03		3.05±1.09
	男女差					

ずれの場合においても同じような嗜好度が示されているものと思われる。

根菜では、一般に低い嗜好度が示されたが、調理法別の有意差は、大根、にんじんの場合にみられた。

ごぼうと大根では、女子の方が男子にくらべて高い嗜好度を示しているが、大根では男女差は全然みられず、ごぼうの煮たものとにんじんのなまにおいてのみ有為性がみとめられた。

きのこ類、果物、酢のものおよび味噌あじにおける嗜好度は第6表に示されるとおりである。

しいたけ、まつたけは、いずれにおいても調理法間、男女間とも差はみられなかったが、全体的には、まつたけの方がしいたけより高い嗜好度を示した。

果物では、そのまま食することが最も嗜好度が高く、女子などほぼ全員が「大好き」と答えており、ついで、かんづめ、ジャム、干したものの順に好まれていた。

そのまま食する場合とジャムとの間では男女差がみられた。果物をそのまま食する場合では

第6表 きのこ類・くだもの・酢の物・味噌あじ

食 品	性 別	焼いたもの			
		焼いたもの	煮たもの		
しいたけ	男子	3.48±1.23	3.51±1.18		
	女子	3.65±1.15	3.74±1.13		
	男女差				
まつたけ	男子	3.93±1.18	3.97±1.09		
	女子	4.04±1.08	4.05±1.07		
	男女差				
		そのまま	かんづめ	ジャム	干したもの
くだもの	男子	4.67±0.64	4.27±0.96	3.88±1.06	3.49±1.15
	女子	4.90±0.35	4.33±0.82	3.32±1.09	3.41±1.07
	男女差	※		※	
		野 菜	海 草	魚	
酢 の 物	男子	3.29±1.24	3.23±1.25	3.15±1.26	
	女子	3.64±1.07	3.46±1.14	3.26±1.14	
	男女差	※			
		味噌汁	田 楽	味噌漬	味噌煮
味 噌 味	男子	4.08±0.93	3.37±1.05	3.34±1.09	3.26±1.12
	女子	4.05±0.86	3.35±0.95	3.49±0.94	3.30±0.96
	男女差				



女子の方が男子に比べて高い嗜好度を示したが、ジャムの場合では逆に男子の方が女子より高い嗜好度を示していたことは、少し意外な感を受けた。これは、甘いものは、女子の方に好まれるのだという既成概念から考えるからであるが、後述するように、甘いものの好みは、男女間に全く差がないといえるのである。

川染<sup>(2)</sup>は、その研究で、年齢が高くなるにつれて、嗜好する糖濃度は低くなること、および、中学生の味覚は不安定であると述べており、今回の調査でもそのような事が推察された。

これらについては、今後、対象年齢層をひろげるとともに、系統的研究により追求してゆきたいと思う。

以上、40種の食品についての調理法別嗜好度をみたが、魚類、ねぎ、なす、ごぼうなどで、男子と女子に調理法による好みの順位のことになりがみられたが、残りの食品においては、ほぼ同じ傾向がみられた。また、キャベツ、まぐろ、大根などいくつかの食品を除いては、焼く(炒める)、揚げる、煮る、むす、なまの順に好まれている傾向がみとめられた。

前回の調査において、調味料のなかで男子は酢、女子は味噌を最も敬遠しており、酢では男女間に有意差もみられた。

従って、今回の調査では、この酢と味噌の嗜好傾向をとりあげ、酢は、酢を使った代表的な料理の酢のものを、材料のちがいによる嗜好傾向を、味噌は味噌を使った料理による嗜好傾向を調査した。

その結果、酢のものでは、男女とも野菜、海草、魚の順に好まれており、特にこの傾向は女子に明瞭にみられた。また、女子は男子よりいずれの調理法においても高い嗜好度を示し、野菜においては有意の差がみられた。

味噌を使った調理では、味噌汁が食べ馴れているという食習慣から他の調理との間に有意差がみとめられた。

第7表は、味の濃淡、甘いものの好き嫌い、油を使った調理の好き嫌いについての結果を示したものである。数字は%で示されている。

味つけでは、男女とも約半数が、ふつうが良いとしていた。この傾向は女子において著しくみとめられた。

甘いものの好みは、男女とも好きだとする者が約半数おり、嫌いだとする者はごくわずかであり、特に男女差は明瞭にみとめられなかった。これは、

第7表 味つけ、甘いもの、油料理の嗜好

		男 子 (%)	女 子 (%)
塩、しょう油の味	うすあじ	21.8	16.3
	こいあじ	30.6	25.5
	ふつう	47.6	58.2
甘 い も の	好 き	47.8	52.2
	嫌 い	11.2	6.0
	ふ つ う	41.0	41.8
油 料 理	好 き	78.5	72.8
	嫌 い	0.5	0.5
	ふ つ う	21.0	26.6

チョコレート、キャラメル、洋菓子などが身近かにいつでも手に入ることや、幼児期から間食としてこれらに馴じんできたことなどと関係がみられるのではないかと思われる。しかし、前述したように、甘みに対する嗜好度は、年齢が高くなるにつれて低くなるとするなら、一時的なものとも考えられる。この点については今後の研究課題としていきたいと思う。

油を使った調理の好みは、男女とも嫌いとする者はたった0.5%にすぎず、7～8割の者が好きだと答えていた。このことは、肉、野菜、魚とほとんどの食品で、焼いたもの（炒めたもの）、揚げたものなどの嗜好度が他の調理法に比べて高く示されていたことと関連があるものと考えられる。

日本においては、欧米諸国に比べるとまだ油脂摂取量は低いとされているが、油脂の使用量が年々のびていることは明らかであり<sup>(3)</sup>、一般家庭での油脂使用の機会が多くなっていることが実証された。しかし、反面、家庭料理が何もかも炒めてしまうような簡単な調理にかたよることには問題があると思われる。

## 2. 平均嗜好度上下2群による調理法別嗜好度

性格特性との関連をみるために、各食品群平均嗜好度の上位群、下位群を選出したが、この上下2群の調理法別による嗜好度ならびにこの両群間の相関を検討した。

結果は第8表から第12表に示されている。

肉類のなかで、男子では牛肉の煮たものと焼いたもの、女子では鯨肉の煮たものとそのままのもの（さしみ）と肉類全般のそのままのもの（さしみ）の場合には、上下間に有意差はみとめられなかったが、その他ではすべて有意差がみられた。男子では、肉類の嫌いな者でも牛肉は別だと考えられるし、女子の場合には、逆に肉の好きな者でもこれらを好まないと言えよう。

魚類のなかでは、たいの揚げたもので女子に差がみられなかったことを除き、残りの魚類、さらに、葉菜、なす、ピーマン、かぼちゃ、いも類、根菜および果物においては、男女ともすべてに差がみとめられた。

調理法による好みの順位は、男女とも上下2群間に差はほとんどみられず、上位群、下位群ともに、焼く、揚げる、煮る、なまの順に高い嗜好度を示していた。ただし、まぐろ、大根、キャベツなどでは、この順位はことなっていた。

## IV 要 約

本報では日常食品についての調理法による嗜好度の変化を調べるために、前報にひきつづき、島根大学教育学部附属中学校生徒を対象に調査をおこなった。

その結果を要約すると次のようである。

- (1) 油を使った料理が全般に好まれているように、焼く（炒める）、揚げる、煮る、むす、そのまま食すの順に好まれる傾向が示された。しかし、キャベツ、まぐろ、大根などでは、食べなれた調理法や家庭で最も普通に調理される調理法が好まれているようであった。

第8表 肉 類

		男 子					女 子				
		焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま
1. 牛 肉	上位群	4.70±0.59	4.61±0.62	4.40±0.76			4.91±0.38	4.41±0.74	4.39±0.75		
	下位群	4.29±0.82	3.69±0.85	3.94±0.83			3.79±1.09	3.69±0.88	3.46±1.09		
	P		※				※	※	※		
2. 豚 肉	上位群	4.73±0.44	4.63±0.66	4.34±0.76	4.38±0.75		4.47±0.79	4.34±0.69	4.03±0.81	3.72±0.96	
	下位群	3.41±1.24	2.94±1.11	3.13±1.20	2.45±0.78		3.21±1.21	3.07±1.26	2.66±1.18	2.28±0.87	
	P	※	※	※	※		※	※	※	※	
3. 鶏 肉	上位群	4.73±0.57	4.63±0.60	4.47±0.76	4.44±0.80		4.77±0.75	4.56±0.70	4.34±0.73	4.29±0.84	
	下位群	2.76±1.35	2.41±1.14	2.13±1.02	2.29±1.16		3.07±1.00	2.96±1.09	2.93±1.17	2.40±0.98	
	P	※	※	※	※		※	※	※	※	
4. 鯨 肉	上位群	4.07±1.07	4.37±0.91	3.96±0.92		3.53±1.24	3.70±1.04	3.71±1.13	3.43±1.15		2.62±1.00
	下位群	3.13±1.22	3.13±1.45	2.60±1.40		2.40±1.43	2.91±1.10	2.87±1.30	2.82±1.19		2.46±1.39
	P	※	※	※		※	※	※			
5. レバー	上位群	4.24±1.01		4.04±1.12			3.63±1.14		3.82±1.17		
	下位群	2.23±0.97		2.43±1.18			2.00±1.07		2.00±0.98		
	P	※		※			※		※		
6. も つ	上位群	4.27±0.94		4.24±0.99			3.41±1.34		3.60±1.31		
	下位群	2.36±1.07		2.42±1.11			1.88±0.99		1.96±0.92		
	P	※		※			※		※		
7. 肉類全般	上位群	4.67±0.54	4.63±0.55	4.10±0.88	4.08±0.80	3.67±1.15	4.75±0.43	4.50±0.61	4.06±0.75	4.03±0.85	2.67±1.18
	下位群	3.81±0.95	3.50±0.71	3.12±0.96	2.62±0.62	2.38±1.22	3.50±0.73	3.48±0.81	3.04±0.84	2.54±0.71	1.87±0.88
	P	※	※	※	※	※	※	※	※	※	

第9表 卵・牛乳・いか・たこ・えび・貝類

		男 子					女 子				
		焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま
8. 卵	上位群	4.53±0.64		4.33±0.79		3.93±1.06	4.53±0.62		4.19±0.82		3.39±1.00
	下位群	3.53±0.73		3.40±0.88		2.71±1.03	3.50±0.90		3.45±0.86		2.45±0.78
	P	※		※		※	※		※		※
9. 牛 乳	上位群			4.29±1.02		4.88±0.40			4.10±1.06		4.41±0.71
	下位群			3.19±1.01		3.62±0.90			2.71±0.94		3.29±0.88
	P			※		※			※		※
10. い か	上位群	4.48±0.75	4.45±0.67	4.17±0.88		4.50±0.81	4.42±0.74	4.56±0.71	4.44±0.71		4.38±0.98
	下位群	3.55±0.93	3.60±1.02	3.24±0.93		3.57±1.08	3.44±1.06	3.57±1.15	3.18±1.06		3.18±1.22
	P	※	※	※		※	※	※	※		※
11. た こ	上位群			4.22±0.97	4.43±0.72				4.45±0.78	4.36±0.81	
	下位群			3.19±0.88	3.44±0.92				3.16±0.99	3.24±1.18	
	P			※	※				※	※	
12. え び	上位群		4.72±0.62	4.61±0.65	4.54±0.83			4.64±0.64	4.53±0.71	4.45±0.83	
	下位群		3.72±1.05	3.42±1.01	3.57±0.98			3.58±0.99	3.19±0.98	3.39±1.07	
	P		※	※	※			※	※	※	
13. か き	上位群		4.27±1.19	4.10±1.26		3.66±1.43		3.63±1.44	3.59±1.43		3.23±1.46
	下位群		2.77±1.14	2.69±1.16		2.67±1.25		2.20±1.13	2.08±1.12		1.74±0.91
	P		※	※		※		※	※		※
14. はまぐり	上位群	4.28±0.95		4.17±1.01			4.00±1.04		4.15±0.98		
	下位群	2.53±1.14		2.45±1.02			2.47±0.87		2.62±0.91		
	P	※		※			※		※		

第10表 魚 類

		男 子				女 子			
		焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	さしみ	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	さしみ
15. まぐろ	上位群	4.29±0.81		4.12±0.91	4.46±0.87	4.10±0.90		4.03±0.87	4.53±0.69
	下位群	2.80±0.94		2.72±0.92	3.36±1.16	3.12±0.77		3.04±0.87	3.08±1.24
	P	※		※	※	※		※	※
16. いわし	上位群	4.19±0.81	4.13±0.96	3.92±0.90	4.00±1.07	4.19±0.76	3.85±0.95	3.95±0.99	3.46±1.24
	下位群	2.69±0.91	2.77±1.05	2.42±0.97	2.39±1.14	3.26±0.70	2.77±0.67	2.88±0.64	2.30±0.90
	P	※	※	※	※	※	※	※	※
17. さば	上位群	4.09±1.02	3.94±1.05	3.91±1.09	3.78±1.23	4.18±0.88	3.97±0.91	4.05±0.90	3.75±1.26
	下位群	2.85±1.13	2.96±1.15	2.60±1.06	2.65±1.13	3.41±0.78	3.04±0.68	3.26±0.75	2.43±0.88
	P	※	※	※	※	※	※	※	※
18. あじ	上位群	4.33±0.77	4.22±0.91	3.87±1.02	3.93±0.99	3.96±0.97	3.79±0.98	3.63±1.03	3.58±1.16
	下位群	2.88±1.05	3.00±1.24	2.52±1.06	2.43±1.06	3.33±0.86	3.08±0.74	3.08±0.74	2.45±0.99
	P	※	※	※	※	※	※	※	※
19. かつお	上位群	4.28±0.79		4.09±0.90	4.43±0.87	3.89±1.02		3.92±0.93	4.00±1.12
	下位群	3.13±1.01		2.96±1.04	2.91±0.97	3.04±0.72		3.08±0.67	2.42±1.08
	P	※		※	※	※		※	※
20. たい	上位群	4.40±0.80	4.28±0.88	4.19±1.01	4.42±0.80	4.30±0.70	3.79±0.98	4.11±0.95	4.02±1.15
	下位群	2.81±1.17	2.80±1.06	2.65±0.96	2.92±1.00	3.56±0.83	3.30±1.00	3.41±0.95	2.70±1.20
	P	※	※	※	※	※		※	※



第11表 葉菜・なす・ピーマン・かぼちゃ

		男 子					女 子				
		焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	ゆでたもの	そのまま
26. ね ぎ	上位群	4.33±0.97		4.15±1.09		4.15±1.13	3.78±1.05		3.76±1.10		3.59±1.28
	下位群	2.57±0.90		2.45±0.89		2.27±1.01	2.49±0.97		2.49±0.86		2.27±0.98
	P	※		※		※	※		※		※
27. 玉 ね ぎ	上位群	4.41±0.84	4.35±0.91	4.43±0.80		4.17±1.07	4.00±1.07	4.04±1.07	3.98±1.09		3.69±1.21
	下位群	3.05±1.07	2.59±1.19	2.71±0.98		2.21±1.20	2.98±0.79	3.02±1.01	2.98±0.88		2.23±0.85
	P	※	※	※		※	※	※	※		※
28. キャベツ	上位群	4.64±0.94		4.10±1.19		4.69±0.65	4.35±0.79		4.02±0.89		4.71±0.50
	下位群	3.67±0.99		3.14±1.04		4.05±0.98	3.73±0.85		3.23±0.93		3.73±0.98
	P	※		※		※	※		※		※
29. ほうれん 草	上位群	4.54±0.75		4.38±0.84	4.50±0.71		4.44±0.70		4.22±0.76	4.53±0.56	
	下位群	3.68±1.26		2.85±1.15	3.76±1.24		3.70±0.87		3.22±0.76	3.44±0.91	
	P	※		※	※		※		※	※	
30. な す	上位群	4.41±0.85	4.17±1.06	4.05±1.14			4.19±1.00	4.00±1.00	4.22±0.90		
	下位群	2.32±1.05	2.23±0.85	2.52±1.06			2.71±0.89	2.67±0.94	2.71±0.98		
	P	※	※	※			※	※	※		
31. ピーマン	上位群	4.65±0.62	4.30±0.95	4.26±0.87			4.49±0.66	4.22±0.85	4.11±0.90		
	下位群	2.04±1.02	1.88±0.85	1.80±0.89			2.26±1.19	2.22±1.10	1.91±0.83		
	P	※	※	※			※	※	※		
32. かぼちゃ	上位群		4.18±0.97	4.12±0.96				4.38±1.03	4.43±0.70		
	下位群		2.72±1.04	3.05±1.11				3.08±0.74	3.36±0.89		
	P		※	※				※	※		

第12表 いも類・根菜・くだもの

		男 子					女 子				
		焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま	焼いたもの	揚げたもの	煮たもの	むしたもの	そのまま
33. <small>おじ</small> やかい	上位群	4.61±0.65	4.48±0.78	4.48±0.82	4.45±0.70		4.44±0.78	4.48±0.71	4.57±0.61	4.35±0.87	
	下位群	2.83±0.90	2.82±0.94	2.93±0.96	3.00±1.13		3.44±0.86	3.47±0.87	3.39±0.82	3.32±0.87	
	P	※	※	※	※		※	※	※	※	
34. <small>おひ</small> つまい	上位群	4.67±0.53	4.61±0.60	4.55±0.70	4.58±0.60		4.57±0.80	4.48±0.85	4.43±0.88	4.50±0.83	
	下位群	3.17±0.87	3.07±1.03	2.79±0.94	3.14±1.19		3.85±0.98	3.98±0.90	3.63±0.87	3.76±0.97	
	P	※	※	※	※		※	※	※	※	
35. やまいも	上位群			4.03±0.88		4.30±0.97			4.05±1.06		4.18±0.95
	下位群			2.14±0.83		2.29±0.88			2.84±0.87		3.26±1.22
	P			※		※			※		※
36. 大 根	上位群			3.58±1.22		4.05±1.14			3.91±0.80		4.14±0.93
	下位群			2.45±1.24		3.10±1.37			2.51±1.00		3.06±1.16
	P			※		※			※		※
37. にんじん	上位群	4.05±1.10	3.98±1.14	3.95±1.07		3.89±1.17	3.81±0.99	3.64±1.07	3.70±0.95		3.15±1.31
	下位群	2.42±1.16	2.23±1.02	2.32±1.09		2.00±1.15	2.57±1.13	2.53±1.12	2.00±0.86		1.91±1.15
	P	※	※	※		※	※	※	※		※
38. ごぼう	上位群		4.26±0.84	4.24±0.79				4.09±0.91	4.12±1.02		
	下位群		2.86±1.11	2.60±1.14				3.06±1.10	3.26±1.05		
	P		※	※				※	※		
39. れんこん	上位群		4.03±1.08	3.95±1.07		3.85±1.23		3.71±1.11	3.79±1.10		3.86±1.01
	下位群		2.44±0.98	2.89±1.08		2.38±0.99		2.68±0.89	2.52±0.91		2.48±0.90
	P		※	※		※		※	※		※
		男 子					女 子				
		そのまま	かんづめ	ジャ ム	干したもの		そのまま	かんづめ	ジャ ム	干したもの	
40. くだもの	上位群	4.82±0.52	4.61±0.83	4.22±1.04	3.98±1.13		5.00±0.00	4.47±0.91	4.21±0.95	3.89±0.99	
	下位群	4.53±0.62	3.83±0.86	3.47±0.85	3.03±0.91		4.62±0.62	3.85±0.72	3.62±0.74	3.04±1.00	
	P	※	※	※	※		※	※	※	※	



- (2) 男子と女子で、調理法による好みの順位は、大半の食品において一致していた。
- (3) 前調査で男女差のみられた食品においては、今回もほぼ同じくその差がみとめられた。しかし、鯨肉、ねぎなどでは調理法のちがいによる差はみられなかった。また、逆に、今回調理法によって男女差のみられる食品もあった。
- (4) 嗜好度の上位群、下位群の間には、男子で牛肉、女子では肉類全般、鯨肉およびたいを除いた残りの食品について差がみとめられた。また、調理法による好みの順位も男女ともほぼ一致していた。

以上、述べてきた調査結果から判断すると、食物嗜好を調査する際には、特に調理法について厳密に考慮する必要はないと言えそうである。

子どもの発達段階による嗜好の変化や、嗜好の固定する年齢などについては今後の研究課題としたい。

#### 参 考 文 献

- (1) 中山郁子，藤江奏；島根大学教育学部紀要（人文・社会科学編）4，51（1970）
- (2) 川染節江；家政学雑誌，89，20（1968）
- (3) 厚生省編；「日本人の栄養所要量」（1969）